小学校 光村ポケット 国語

# デジタル端末 どう使う？

## 個別最適な学び × 協働的な学び

GIGAスクール構想の推進や、教育DXの実現を目ざし、子どもたちに一人一台のデジタル端末が整備されました。その端末を使って、「個別最適」と「協働」をどのように実現し、言葉の力を育てていくとよいのでしょうか。取り組みやすく効果的な活動について、筑波大学附属小学校の青山由紀先生に語っていただきました。



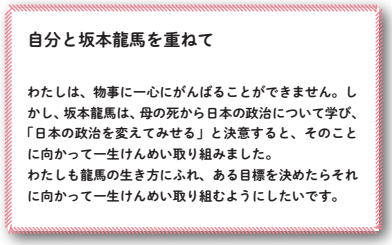

### 撮影機能で個性をいかそう

誰でも手軽に扱えるのは、撮影機能です。「しらせたいな、見せたいな」（1年）で観察記録を書くときには、記録のために写真を撮ることが考えられます。同じ観察対象でも、どのような写真を撮るかには必ず個性が出てきます。また、気づいたことを写真に直接書き込んだり、複数の写真を比べながら書いたりすることもできるため、低学年でも考えを広げやすくなるでしょう。「わたしたちの学校じまん」（3年）など紹介するスピーチのときには、写真の一部を拡大しながら話すこともできますし、情報収集が手軽にできる分、集めた情報の整理や、表現の言葉選びに時間をかけられます。



### プレゼンシートで交流を促進

プレゼンテーションソフトは、考えをまとめて交流する活動でぜひ使いたいツールです。「やなせたかし」（5年）では、自分が選んだ伝記をもとに、プレゼンシートを数枚作成して、ポスターセッション形式で交流しました。シートごとに、人物の生涯、感銘を受けたこと、自分と重ねて考えたことなどをまとめます。文字数を制限することで、目的に応じて要約しながら考えをまとめる力が育ちます。意見の交流も焦点化できるため、自分にとっての意味も深く考えるようになりました。


自分と坂本龍馬を重ねて

わたしは、物事に一心にがんばることができません。しかし、坂本龍馬は、母の死から日本の政治について学び、「日本の政治を変えてみせる」と決意すると、そのことに向かって一生けんめい取り組みました。
わたしも龍馬の生き方にふれ、ある目標を決めたらそれに向かって一生けんめい取り組むようにしたいです。

### 協働で試行錯誤しよう

自分の考えを整理する場面でも、デジタル端末は活躍します。紙のノートと違って、消したり書き直したりすることが容易なので、子どもたちも試行錯誤がしやすいようです。例えば、「読むこと（説明文）」では、段落どうしの関係や資料の役割などについて、考えを書き込んだ付箋メモを、端末上で自由に動かしながら整理するとよいでしょう。端末を見せ合いながら交流するときも、考えが変わったらすぐに書き直す様子が見られます。協働的な学びの効果が表れやすい活動といえるでしょう。



### 一人一人の特性に応じて

一人一台のデジタル端末があることで、さまざまな特性をもつ子どもたちが、それぞれ豊かに学べるような環境になってきています。デジタル端末の適切な活用は、子どもたちの言葉による思考・判断・表現を強力に支援します。学習のねらいと一人一人の状況に応じて、紙と鉛筆か、デジタル端末かなど、何を使ってどう学んでいくのかを、柔軟に選べるようになるといいですね。





光村図書

発行日 2024年2月1日
発行者 吉田直樹
発行所 光村図書出版株式会社
〒141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9
電話:03-3493-2111(代表)

光村図書ウェブサイト
光村図書

教授用資料 本資料は、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」に則って作成したものです。